

教育・研究などへの取組状況

総合工学システム学科 環境物質化学コース 教授 西岡 求

項目	取組状況
教育	<p>◆ 平成 29 年度担当科目 総合工学実験実習 I (1 年)、バイオ分子工学(4A)、バイオプロセス工学(5A)、基礎研究(4A)、卒業研究(5A)、生物工学(専攻科 2 年)、環境工学(専攻科 2 年)、工学特別ゼミナール I (専攻科 1 年 A)、工学基礎研究(専攻科 1 年 A)、工学特別研究(専攻科 2 年 A)</p> <p>◆ 担当科目の取組状況(工夫・改善した点) 講義科目における補助教材・演習課題の内容を適宜検討・修正を行った。</p>
研究	<p>◆ 平成 27～29 年度における研究業績</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 学術論文執筆 <ul style="list-style-type: none"> ①鉄鋼スラグの高 pH 水拡散特性と生態系への影響に関する研究(第 11 回環境地盤工学シンポジウム発表論文集)(共著・2015/7)【査読有】 ②Motomu Nishioka, Hiroki Den, Tatsuo Noda, Kimihiko Sugiura: Development of Microbial Fuel Cells Utilizing Glycerol as a Sole Carbon Source, ECS Transactions, 83(1), 137-143, 2018. (共著・2018/2)【査読有】 ■ 国際会議での発表 <ul style="list-style-type: none"> ①Kaede Morita, Motomu Nishioka, Kimihiko Sugiura: “Search for Microorganism of optimal electron transport property”, The 27th International Symposium on Transport Phenomena (Honolulu), 20-23, September, 2016 ②Motomu Nishioka, Hiroki Den, Tatsuo Noda, Kimihiko Sugiura: Development of Microbial Fuel Cells Utilizing Glycerol as a Sole Carbon Source, Fuel Cell Seminar & Energy Exposition 2017, Long Beach (California), USA, November, 2017 ■ 学術講演会での発表 森田 楓, 川口 彩, 西岡 求, 野田達夫, 杉浦公彦: “種々の微生物を用いた微生物燃料電池の出力特性”, 第 19 回化学工学会学生発表会(豊中大会), 豊中, 2017, 3. 他 4 件 <p>◆ 平成 27～29 年度における外部資金獲得状況 科研費基盤研究(C)分極改善に基づく高性能な微生物-酵素ハイブリッド型燃料電池の開発(平成 28～30 年度・3700 千円)</p>
社会貢献	<p>◆ 平成 27～29 年度における公開講座・出前授業の取組状況 平成 29 年度公開講座・子と親の楽しいかがく教室(七宝焼) 他 7 件</p> <p>◆ 平成 27～29 年度における学協会等の委員 関西工学教育協会高専部会・幹事 日本生物工学会関西支部委員</p> <p>◆ 特記すべき社会貢献の内容 教育研究活動に関する校長顕彰(第 2 条第一項(6))(平成 27・28・29 年度)</p>